

ふゆとろ



winter

2017



vol.
14

特集
児童期
リアルレポート!!

ヤマハ音楽教室幼児科
保護者向け情報誌



ヤマハ音楽教室の願い

人は落ち込んでいたりときや、悲しいときに音楽に救われます。また、嬉しいときや楽しいときは、音楽がその気持ちをさらに盛り上げてくれます。

そんな「音楽」のすばらしさを伝えたい、という気持ちからヤマハ音楽教室では、教材やカリキュラム、先生たちの指導方法についても、常にこだわりをもって研究・開発を進めてきました。

幼児期からヤマハ音楽教室に通うことで身につけた音感をベースに、音楽を楽しめるようになってほしい。大人になっても変わらずに楽しんでほしい。音楽がその人の人生をより豊かに彩ること、

それがヤマハ音楽教室の願いでもあります。

音楽は目に見えない芸術です。絵画のようにそこにとどまっていたはくれませんが、だからこそ、人の心に常に寄り添うこともできると思うのです。

音楽の楽しさをたくさんの人に伝えていきたい、ヤマハ音楽教室は、いつもそういう気持ちで音楽教育に取り組んでいます。

ぶらトモってなあに？

みなさん、こんにちは。「ぶらトモ」は幼児科のお母さんお父さんたちと身近になりたい、仲よくなりたいという想いで2014年に発行されました。「ぶらいまりー」のともだちだから略して「ぶらトモ」です。よろしく願います！



IN SUCH A CASE

それって こんなこと

ヤマハ音楽教室で使われる教材は、ひとつひとつヤマハが、0から作り上げているものです。もちろん、幼児科で使うテキストも同様です。レッスンで使う教材、『ぶらいまりー』には、幼児科のみなさんが楽しみながら音楽に触れることができるよう、色彩豊かな曲を盛り込んでいます。また付属のDVDやCDも、一流の演奏家をむかえ、クオリティにこだわって録音されています。子どもだけでなく大人も楽しめる内容になっていますから、ぜひ家族で楽しんでみてください。



サッカーも音楽も

自分自身を

表現する

ためのもの。

ぶらトモ インタビュー

*

YUKI NAGASATO 永里優季さん

神奈川県出身。プロサッカー選手。小1よりサッカーを始め、中学でFC厚木レディースを経て日テレ・メニーナに入団。その後、日テレ・ベレーザ時代にはワールドカップに日本代表として出場、ドイツのトゥルビネ・ポツダムに移籍後も、ロンドンオリンピックに日本代表として全試合に出場。銀メダル獲得に貢献した。その後、いくつかのチーム移籍を経て、現在はアメリカNWSL、シカゴ・レッドスターズ所属。実兄の永里源気、実妹の永里亜紗乃の2人も共に、サッカー選手。

3歳のときに
妹と一緒にヤマハへ

ヤマハとの出会いは、当時の「3歳児ランド」に通ったこと、という永里さん。通い始めた理由を聞いてみると、お母さまがパッとひらめいたからだそう。「ちょうど兄が幼稚園に通い始めたころだったので、きつとどこかに放り込みたかったんでしようね」と笑います。

そのころ唯一覚えている記憶は、お母さまが段ボールでピアノを作ってくれたこと。動物が出てきて、リスはバイオリンとか、ウサギはピアノというように、いろんな楽器を鳴らす歌(山の音楽家)がレッスンであったそうで、それに合わせて段ボールでピアノを作ってくれたそうです。

「母は、スポーツができて、音楽

もできる子どもになってほしい。かったらしくて。私や妹が生まれる前に、電子ピアノが当たる懸賞に応募したら、見事に当選。母もピアノに対する憧れがあったのかもしれない。」

なでしこデビューし
サッカーに専念

永里さんがサッカーを始めたのは、小学校1年生の時。「兄がサッカーをやりたいと言っていて、妹もやりたいと言いついて。私はやりたくないと言っていたんですが、結局、私も始めることになったんです。」

兄妹と比べられるので、絶対に同じことをやるのは嫌だと思っていたという永里さん。

「妹とは中・高と同じチームだったので、妹が脅威で。いつも妹に抜かれないかとヒヤヒヤしていました」と語ります。

PRIMARY FRIENDS INTERVIEW



週に2〜3日はサッカー、週に2日はピアノ、そして小4からは、これもお兄さんの影響で、そろばん教室にも通いました。「そろばん教室は、家の目の前だったので、6年生まで3年間通いました」と永里さん。運動・芸術・勉強と、なかなか多忙だった小学生時代。練習不足でうまく弾けず、ピアノをやめたいと思ったことも何度もあったと言います。

「先生がとても厳しくて。ある日、行きたくなくて寝たふりをして、親も見過ごしていたら、ピアノの先生から電話がかかってきて、母が怒られたんです。親が真剣にならないで、子どもが真剣になると思う? と。」

厳しいながらも、とても愛情のある先生で、永里さんも練習を重ねるうちに、できないことができるようになるのが楽しく、

どんどん難しい曲にもチャレンジしていくようになっていったそうです。

忙しいなか、
中3までピアノを

中学生になってからは、サッカーが忙しくなるとピアノのレッスンは週1回に。中学3年生の時に日本のトップチーム、なでしこリーグでデビューし、サッカーに専念することになりました。

それでも中学3年生までピアノを続け、ヤマハが認定する検定、グレードの7級も取得。「ピアノもサッカーも練習したら、練習した分だけうまくなって結果も出る。できるようになるから楽しくなる」と、自分から練習や勉強をするタイプだったため、「勉強しなさい」と親から言われたことは、1回もな



「い」そう。そのかわり、「やるからにはトップレベルを目指してほしい」というのが両親の教育方針でした。

元々自身もバスケットボール選手だったお父様からは「そんなに、トップに行けると思うのか。サッカーなんかやめちまえ！」と叱咤されることもしょっちゅうだったとか。

「でも、これで本当にやめたら、もっと怒られそうだったから、『やめる』なんて、とても言えなかったですね(笑)」。

今でも生活のなかに音楽がある

小学校・中学校と、ピアノを習っていてよかったことは、「感性が磨かれたこと」と即答した永里さん。音楽を学んできたことは、自分を表現する力につながったといいます。また、

語学の習得にも役立っているとか。

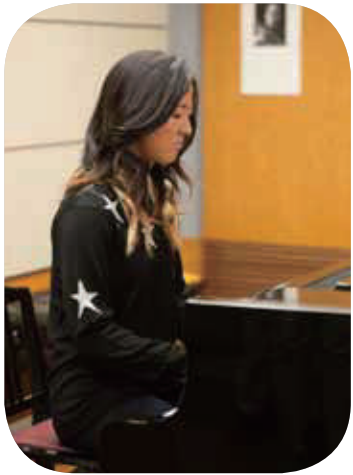
「ピアノを習っていたことで、音の聞き分けができるので、海外に行って言語を覚えるのが、すごく楽なんです」。

外国語の音をちゃんと聞き分け、そのまま音に出すことができるので、ネイティブに近い発音ができるとか。

「これまで、ドイツ語と英語を学んできましたが、英会話の先生に、発音と理解力、学ぶスピードが早いとほめられました」。

今でも実家に帰るとピアノを弾いたり、遠征先の海外でも、たまにホテルにピアノが置いてあると、遊びながら弾いたりすることもあるそうです。

「発表会で弾いた曲など、たくさん練習した曲は、全部とはまではないかたすけれど、指が覚えているですよね」。



朝、ストレッチをするときに自宅で音楽を流したり、「長い移動も多いので、そういうときは、小中学校のときに聞いているSPEDやモーニング娘。といった懐かしい曲を聴いたりもします」。

最近では、英語のカントリーミュージックやラブソングを聞くことも多いそうで、歌詞が聞き取りやすいので、英語の勉強になるんです。

ミュージカルも好きで、国内でも海外でも、時間があれば観にいたり、音楽がいつもそばにある生活を送っています。

目標はいらない
目的があればいい！

去年、アメリカのシカゴ・レッドスターズに移籍し、新しい挑戦を始めた永里さん。
小さいころからトップに登り

つめることだけを目標にし、その目標を成し遂げた後、どうすればいいか途方に暮れたこともあるそう。

「悩んで、チームを転々としたが、最近では、別に目標は無くてもいいと思えるようになりました。今は目的だけ。サッカーを通して自己表現をして、メッセージとして世界中に発信したい」と永里さん。

「今は毎日が楽しくて、ボールを蹴るだけで幸せ。試合に出られるかどうかは、監督が選ぶこと。私は自分自身を表現するのみに集中すればいい」とも。
幼児科の保護者には、「強制せず、好きなことをやらせて、子ども自身の好奇心を育ててほしい。いろんな世界に興味を持つことで、人間の幅や出会いも広がり、人生が豊かになると思います」とメッセージを。

INFORMATION

ヤマハグレードとは、ヤマハが認定する音楽能力検定制度のこと。ピアノとエレクトーンでそれぞれ13級から1級まであり、10級～6級が音楽学習者のためのグレードです。7、6級は、その演奏力について合格証に「上級認定」と表記されるようになりました。

リアルな声、
聞いてきました!

特集 児童期 リアルレポート

*各コースの開設状況は、レッスン会場によって異なります。レッスンの詳しい内容はヤマハ音楽教室ホームページ、開設状況については通っているレッスン会場にお問い合わせください。



ジュニア
エレクトーンコース

グループ または 個人

グループまたは個人で、エレクトーンならでの多彩な音色を操作しながら、豊かな表現力とアレンジ力を身につけていきます。



ジュニア
ピアノコース

個人

個人レッスンのコース。ジャンルを超えた幅広いレパートリーを学びつつ確かなピアノの演奏力とアレンジ力を身につけていきます。



ジュニア
アンサンブルコース

グループ

グループレッスンのコース。レパートリーやアンサンブルなどを通じて、総合的な音楽力を、ゆとりのある進度で伸ばしていきます。



ジュニア
専門コース

グループ 個人

専門的な教育を受けたい人のためのコース。演奏・創作ともにハイレベルな音楽力を身につけます。オーディションがあります。



ジュニア
総合コース

グループ 個人

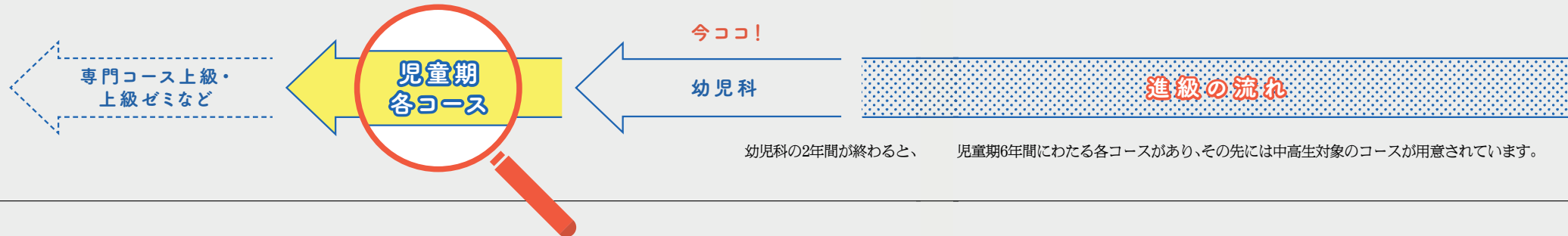
グループと個人レッスン(月1~3回から選択)の併用で総合音楽力を更に伸ばし、鍵盤演奏力、アレンジ力を磨きます。

幼児科を修了したら次の児童期には進級コースが5つ、用意されています。児童期になると、小学校も始まり、生活自体ががらりと変わります。5つのコースと小学校生活をのぞかせてもらいました!

ぷらっとモ
が総力取材!
取材班



CLOSE UP!



幼児科の2年間が終わると、児童期6年間にわたる各コースがあり、その先には中高生対象のコースが用意されています。

ジュニア総合コース

親子で生活が変わりました。



西田百花ちゃん(小1)・香織さん(兵庫県 新響楽器) ママもヤマハ出身「アンサンブルコース」と迷いましたが、個人もあるジュニア総合に。

自宅での様子

保育園時代と違って宿題も！そこそこの量もあり、夕ご飯の前に行うようにしています。



ピカピカの1年生！

こんな習い事も！



通っている小学校で行われている空手にも週1回通っています。



自宅練習

放課後は近所の友だちと遊びに行くことも。自宅練習はできるだけ毎日、「やりたくないときは1曲でもいいから弾いたら」と声をかけています。



教室でのレッスン

「思いやりもあって努力家」と黒田美和先生。グループレッスンは4人で。個人レッスンは月1回、きめ細かい指導を行っています。



個人レッスン

グループレッスン

「小学校に入って、それまでと生活ががらっと変わった」と語るのはママ。幼児科時代は保育園に通っていましたが、現在、ママは仕事を午前中だけの勤務に変更しています。放課後は、それぞれ週1回、スイミングと空手にも通っていて、「学校の宿題もあるし、やることであって思っていたより忙しい」とも。先生からは、「しっかりしていて、集中して話を聞いている」と言われている百花ちゃん。 「生活が変わり、リズムに慣れるのに1カ月くらいかかりました」とはママ。

ジュニア専門コース

帰宅後は「毎日練習」が習慣に。



小金井康平くん(小1)・芳之さん(埼玉県 昭和楽器) 3才のころ、おもちゃのピアノが大好きで、それがきっかけでヤマハに通うことに。

平日は、帰宅後に友達と遊びに行ってしまうことも多いのですが、「17時の鐘が鳴ったら帰ってきて、おやつを食べて、宿題、エレクトーンの練習というのが大体の流れです」JOC*です。

取材時は、自作の曲「カノンポーの狼王」を練習中。専門コースに進んで約半年程度。JOC*コンサートの準備もあるため「親のサポートが必要場面もあります」。

将来は「無理やり何かを」というのではなく、本人が好きなおもちゃを飽きないで続けていくつもりです。ママは「パパのコメント」。

学校も大好き！

自宅での様子



習い事はヤマハだけ。学校の勉強は、市販の教材などを使っての自宅学習で、できるだけ先取りするようにしています。

おやつタイム！



自宅練習

EFの地区大会に出場して入賞！



とにかく弾くことが大好き。平日は2時間、土日は4~5時間練習することも。取材時は数か月後のJOCのためにオリジナル曲を練習中でした。

グループレッスン



教室でのレッスン

個人レッスン



メンバーは全部で4人。グループも個人も担当は嶋沢郁子先生。グループでは総合的な音楽力を、個人ではハイレベルな演奏力を磨きます。



習い事はほかにサッカーなど。

自宅での様子

練習時間の捻出がいちばん大変!



演奏会にも!

発表会が、日ごろの練習の励みに。



少しでも毎日練習を。

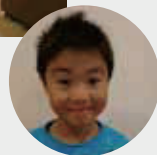


田口春輝くん(小2)・敬子さん(愛知県 坂野楽器)
習い事は土日中心。中一の姉も幼児科出身で、現在は個人のレッスンに。

平日の放課後は、学童保育に通い、習い事は主に土日。「土曜はヤマハにサッカーに英語にと超ハードスケジュール」だそうで、ほかにスイミングにも通っています。「なかなか練習しない」のがママの悩みだそうです。ポイント制にして、ポイントがたまったらごほうびを設定するなごしています。「それで何とか練習しています(笑)。ピアノとサッカーは続けてほしいです」AMM。M。

自宅での様子

幼児科に通う弟の舜くんが張り合ってくることも。



お店の大会で銀賞を受賞し、EF地区大会に出場!

EF出場も励みに。

福田悠真くん(小2)・晃代さん(埼玉県 谷田楽器店)
「生活が変わり、忙しくなりましたが、長く続けて行っている」とはママのコメント。

進級先を選ぶときは、総合コースと迷いましたが、本格的にエレクトーンを学びたくて現在のコースに。今年EF地区大会にも出場。来年も頑張りたい、と言っているそう。「目標があると燃えるタイプみたいで、本番前は一生懸命練習していました」。レッスンは個人で、「本人のペースに合わせて細かく教えてくれるので、毎回帰ってくるのが上手になっています」。

ジュニアピアノコース

学童保育で習い事も!



学童保育のピアノで、ヤマハの練習! 英語やチャリーダーのほか、スイミングにも通っています。

自宅での様子



宿題はリビングで。ランドセルや習い事のグッズなどはまとめて専用コーナーを作って収納しています。ピアノもリビングにあります。



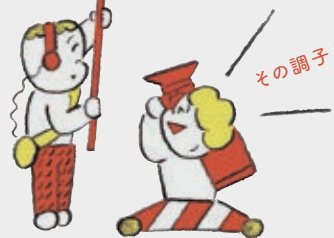
小学校関連のものはここに!

自宅練習

なかなか平日は自宅練習ができないことも。「できるだけ声はかけるようにしています」。



真剣!



その調子!

ジュニアエレクトーンコース

教室でのレッスン

月3回、土曜日のレッスンで、凜ちゃんのクラスは全部で6人。担当は下山まな恵先生です。



ママはフルタイムで働いているため、凜ちゃんは、放課後は民間の学童に通っています。学童には電子ピアノがあったり、「そこでヤマハの練習をしていることも。ほかにも学童には、ひまわりまなプログラムがあって、英語やチャリーダーなどにも、楽しく参加しています」。

帰宅後は学校の宿題をしたり、ピアノに向かったり。「最初は自分ひとりで管理ができるようになるのかな? と不安でしたが、今はだいぶ生活のリズムが整ってきて、自分から宿題や明日の用意をするようになりました」。



奥田凜ちゃん(小1)・美香さん(東京都 スター楽器)
ママもヤマハ出身。「エレクトーンフェスティバルの楽しさを学んだので、娘にもその良さを知ってもらいたい」。

学童保育でヤマハの練習も!

ジュニアアンサンブルコース



THE WORLD OF
CHILDREN'S SONGS

"ゆき"

ILLUSTRATED
BY MAMIKO SENSHU

SCORE

" ゆき "

作詞・作曲：文部省唱歌
編曲：清澤久恵

※メロディーパートは、1オクターブ^{うえ}上で弾きましょう。

♩=108

メロディー

伴奏

Chords: F, C, Dm, Am, B^b, F, Gm7, C, F, C, A7, Dm, F7, B^b, C7, Am7, Dm, G7, C7, F

Handwritten notes and fingerings are present on the musical staves.

HOW TO PLAY
こうやって
遊ぼう！

雪が降った日の朝は、子どもだけではなく、
犬までもが楽しい気分になるのが伝わってきます。
ほんわかとしたイラストに合わせて
歌ったり、弾いたりしてみましょう。
歌いながら弾いたり、連弾してもいいでしょう。

LYRICS

" ゆき "

ゆーきや こんこ あられや こんこ
ふっては ふっては ずんずん つもる
やーまも のはらも わたぼうし かぶり
かれき のこらず はながさく

ゆーきや こんこ あられや こんこ
ふっても ふっても まだふりやまぬ
いーぬは よろこび にわかけまわり
ねこは こたつで まるくなる

ヤマハ ぶらトモ family f おっかけ日記

幼児科に通う親子2組に密着したコミックエッセイ!

フクチマミ マンガイラストレーター。二人の娘のママ。「晩ごはん症候群(シンドローム)」(主婦の友社)も好評発売中。

いこちゃん family の場合

お散歩中

わっ
トンネルって
声が響く!!

これは
「練習しなきゃ
弾けないんだ」って
わかる

いい機会
だよ

また一緒にがんばろう

コンサート開催!!

ますます歌うことが
大好きになっていきます

歌はシーンに
合わせる事が多く...

坂があれば
わー
すごい坂

ランラン
にじを
さすめざし

「ランランピクニック」

時計を見るときは
いまなんじ
なんじ
おこし

「はとどけい」

「のほら」と聞くと
のほらにー
ふしぎなー
がっきがー

「ふしぎながき」

まだ習って
ないけど
DVDに
入ってる曲だ!!

よく
覚えてるな

いこちゃんの
体にどんだん

音楽がしみ込んで
いるんだあって
感じました

いこちゃん family の場合

こんにちはフクチです
今回も
いこちゃんといこちゃん
ファミリーの様子を
おとどけます!!

幼児科
2年目
8月頃の
様子です

夏の帰省中に
ママのきょうだい達の前で
ピアノを弾いて...

♪弾きため*の曲を
※弾きため...仕上がった曲を
弾き続けること

たくさん褒めてもらいました

「すごい!!」

自信がついて
練習も積極的に
なりそうだな

やる気アップ

ところが帰京後...

練習...?
新しい曲は
イヤだ

なぜかやる気が
ダウン...

新しい曲は
間違うからイヤ
なのかなあ...

弾ける曲だけ
気持ちよく
弾いてたもんな

そんな感じで
弾きための曲ばかり
弾いていたら

何も弾かない
よりマシ!!

当然ながらレッスンで
新しい曲がうまく弾けず

うわ
不機嫌な
顔になってる!! でも...

ぶらトモファミリー
おっかけ日記はFBページで

いいね!や
コメント
お待ちして
います♡

月・水・金
時々日曜日も
更新中です

こちらでも
毎週水曜日
出張更新中

ぶらトモファミリー
おっかけ日記

ヤマハ音楽教室
FBページ

YAMAHA
MUSIC FOUNDATION

ヤマハ ぶらトモ
で検索してね



PURATOMO SQUARE

ぶらトモひろば



「ぶらトモひろば」では、全国の生徒のみんなや、お母さん・お父さんたちからのすてきなお便りを紹介したりヤマハ音楽教室にまつわる素朴な疑問に一生懸命答えたりするよ。もっとわたしたちのことを知ってほしいから。

Q & A ABOUT YAMAHA

ヤマハ音楽教室
にまつわる
そぼくな疑問



Q. ドレミで覚えて

いるので、楽譜が読める
ようになるか不安です。

(埼玉県 荒畑明日香さん)

A. 幼児科は、耳を育てます。
児童期になると、楽譜を
読む機会も増えます。

ヤマハでは、子どもの年齢や発
達に応じた「適期教育」という考
え方のもと、音楽教育をおこなっ
ています。

幼児科では「聴く力」に重点を

娘が「くもにのって」のページ
に、3枚目の妖精のシールを貼る
時のことです。2枚は、すでにぶ
らいまりー①のテキストに貼っ
てあったので、「ひとりでさびし
かったね。(さあこれで3人一緒
だよ)」と語りかけていました。
その姿が、とても微笑ましくて、
このような感性を大切に育てて
行きたいと思いました。(東京都
かわさけーにゃさん)



仲間と一緒に
うれしい!

毎日、自宅で五分の練習が定着し
つつあり、毎週、娘は教室に行くの
がとても楽しみなようです。この
まま楽しく続けていくことを願っ
ています!(埼玉県 えみにゃんさん)

積み重ねが
大事!



幼児科2年目。1歳のらつきー
クラスから通っています。今で
は両手奏ができるようになりまし

た。ヤマハに通い始めたころを思
い出すと、音感もだいぶついで、ず
いぶん成長したなと感じます。
この先も、音楽を楽しんでいけ
ればなと思います。(静岡県 ひ
ろきママさん)

一緒に
成長しよう



幼児科1年目。最初は、ただ
の音だったのが、最近ではメロ
ディーを弾くようになりました。
すると、知らない曲が流れてい
るときにも自然と指を動かして、
その曲を自分で弾いているかのよ
うに楽しんでるときがあります。
まだ、両手弾きはできないはず
なのに、エアではプロ並の演奏で
す! 自分の指でメロディーを奏
でられることが経験できたからだ
と思っています。(東京都 にし
ともさん)

エアピアノなら
負けないよ



置いています。これは、4〜5歳
の時期がもっとも聴覚が発達する
時期だからです。
今の時期は、耳から音楽を取り
込むことを大切にしながら、楽譜
が楽しく読めるようになるための
取り組みもしています。児童期に
なると、楽譜をよく経験が更に増
えるので、ご安心ください。

まずは
耳から!



Q. 下の子が

じつとしていられず
教室と一緒にいるのが
難しいことがあります。

(東京都 いちいあじさん)

A. 下のお子さんと
教室の外に出られても
大丈夫です。

下のお子さんと一緒にレッスン
に入られる方も多くいらっしやる

しっかり
フォロー



Q. 母の私もヤマハ育ち。
「さんぞくのうた」など、
昔と同じなのはなぜ?

(静岡県 ゆいかママさん)

A. 時代を超えて、
「耳の力」がつく曲を
大切にしています。

ヤマハの幼児科は1969年
に、「幼児のほん」というテキス
トとともに開設されました。
その後、テキストの名前は「ぶ
らいまりー」というタイトルにな

自身もヤマハでエレクトーンを習っ
ていたという古館勝義さん(37才)。
娘の舞音ちゃん(5才)は、現在幼児科
1年目。きっかけは入会案内のDVDの
「ぶっぶるが気に入ったから(笑)」だ
そう。土曜日のレッスンは主にパパの
担当で「妻が付きそうこともあるので、
メモを取るようになっています」。本人
は楽しく通っていて「音楽を含めて、
自分が楽しい」と思える経験をたく
さん積んでもらえれば!



MY DEAREST DAD
ぼくの私の
大好きパパ

全国のパパ
募集中!



り、時代に合わせて何度も改訂が
行われてきました。

ヤマハの幼児科は、レッスンを
通してこどもたちがスムーズ
に「耳の力」をつけるためのカリ
キュラム内容になっています。

その流れの中で、ご質問にあ
った「さんぞくのうた」をはじめ、
「だいすきなパン」「リスのこもり
うた」などは、子ども達がイメー
ジと共に、無理なく楽しく「耳の
力」をつけていくためには欠かす
ことのできない曲として、今に受
け継がれています。

ママのときと
同じ!



ご意見・ご感想
お気軽に
お問い合わせください

ヤマハ音楽教室
お客様コミュニケーションセンター

0570-075808

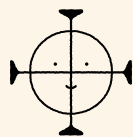
月曜～金曜 9:30～17:30
(祝日・年末年始・夏季休業を除く)

※「ヤマハ音楽教室ホームページ」か
らもお問い合わせを受け付けています。
<http://faq.yamaha-ongaku.com/as/scope1/yamaha-mf/web/>

PURATOMO FRIENDS
ぶらトモのゆかいな仲間たち



フェルマータ
のんびり
フェルマータちゃん
とおくの むらから
やってきた たびびと
おっとりしている



コーダ
ようきな
コーダさん
たいよう みたいに
あったかい ところで
みんなを げんきづける



二分の二拍子
たよれる
アラ・ブレベくん
みんなの おにいさん
おおきな おはなが
とくちょう



トリル
こころふるえる
トリルちゃん
こころが ゆたかで
いろんなことに
むねいっぱいになる

＼ おじゃましました！ ／

隣のヤマハ音楽教室！



国際平和都市、広島。今回は、工業大学を卒業後、ヤマハの先生になったという那須恭奈先生(写真後列右から3番目)の1年目のクラスにお邪魔しました。レッスンも広島弁で元気いっぱい！そしてぶらいまりーノートに熱心にメモをとるママたちの姿も印象的。「子どもたちがレッスンを全部覚えていることは難しいので、ママたちの協力があります」。ママたちだけで歌う場面も、しっかり歌っていました！「音楽は、その人の人生に一生、寄り添っていくもの。曲を聞いて、自分の過去を思い出したり映画を観て音楽とのつながりを感じたり、そんな大人になってほしいですね」。

ワタナベミュージックラボ
ゆめタウンみゆきセンター

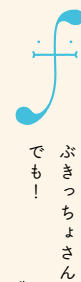
広島市南区宇品西6丁目7-14

(右)ショッピングセンター
の中にあります。
(左)平和のシンボル。原爆
ドーム。



EASY HANDMADE
簡単手作り

[第4回]
シールで
デコボックス



<材料>
空き箱・空きびんなど/デコシール

<作り方>
1. デコりたい部分にあわせてデコシールをカットします(*デコシールは100円ショップなどで売っています)。
2. 貼りたい部分に貼っていきます。

＼ POINT ／



ピンセットを使うときれいに貼ることができます。



TEACHER

みんなの先生



この道
ひとすじ

宮嶋恵理先生(新潟県 わたじん楽器)



長岡生まれの宮嶋先生は講師歴25年。4歳からヤマハに通い、「中学生のときの先生が、見た目もファッションも、かわいくて。アイドルに憧れる感じ」で、ヤマハの先生になったといいます。実は、その頃は練習が嫌いだったそうですが、レッスンで先生の歌や演奏を聴くのは大好きで、それが楽しみ&励みだったそう。今は、弾けたときの子どもたちの笑顔や、グループで1つの曲を創り上げたときの達成感を共有できるのが喜び。「子どもたちがワクワクする曲との出会いを大切にしながら、レッスンをしていきたいと思っています」。

HUMOROUS POEM

おもしろヤマハ川柳

*

テーマ

「子育てあるある!!」



母娘

和歌山県 まちこ&あん親子さん

ねこでんわ
かけてみたいな

弾けたとき
はじける笑顔
ハイタッチ!

東京都 つなひきぞうさん

きょうだい
ひとつのピアノに
よってくる

東京都 こねぎさん

編集後記

小さな玉を作るのは簡単。大きな玉をもっと大きくするのも簡単。その中間が、難しい。雪だるまづくりから教わりました。(アートディレクター 寄藤文平) / 雪だるまといえ、今号は楽譜も「ゆき」。最近では雪遊びとも雪山とも無縁。たまには「冬の自然」に触れたいものです。(編集&ライター 長谷川華) / 冬はクリスマス、お正月とイベントが目白押し。準備に追い立てられる気分になりますが、たまには子どもと一緒に行事の意味を考える時間(余裕)を持ちたいと思います。(ヤマハ音楽振興会 ぶらトモ編集部F)

ぶらトモ Vol.14 2017冬 平成29年12月20日発行 通算14号

撮影：野頭尚子(永里さんインタビュー部分)、

ヒロミナ(特集部分)、鈴木江美子(手作り部分)

ヘア&メイク：榊美奈子(永里さんインタビュー部分)

手作り制作&スタイリング：すずき尋巳

アートディレクション：寄藤文平

デザイン：三浦裕一朗、周佐直彰(Mo-Green Co.,Ltd.)、

窪田実莉、古屋郁美(文平銀座)

文：下関崇子、長谷川華

企画・編集協力：孫のカククリエイティブ(株式会社トド・プレス)、
長谷川華

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：一般財団法人ヤマハ音楽振興会

〒153-8666 目黒区下目黒 3-24-22 ☎0570-075-808

発行人：大池真人

次号は
3月発行です



WANTED

『アンケート&お便り』募集!

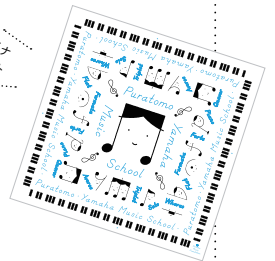
『ぶらトモVol.14』の記事について、みなさんのご感想、ご意見を募集中です。『ぶらトモ』と一緒に作ってくれる『ぶらトモ隊』への応募もこちらから!

1. 今号に関する感想
2. ヤマハ音楽教室や子育てに関するエピソード
3. ヤマハ音楽教室にまつわるそばくな疑問
4. ぼくの私の大好きパパ
5. 子育てあるある川柳 6. モニターさん

を募集しています。応募は以下のアドレスかQRコードから。
<https://jp.research.net/s/KBFPBST> (応募は1月末日まで)



素敵なハンダナ
プレゼント



【個人情報について】

いただいたお名前、ご住所、ご連絡先などは、誌面掲載のご連絡やプレゼントのお届けに必要な情報の確認に使用し、その他の目的では使用いたしません。